

令5 高等学校看護 (4枚のうち1)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

I 次の事例を読んで、あとの問いに答えなさい。

Aさん(65歳・男性)は、妻と二人暮らしである。トイレに入ったまま戻ってこないAさんを心配した妻が見に行くと、Aさんはトイレで倒れていた。妻が救急車を要請し病院に緊急搬送された。病院到着時、ジャパン・コーマ・スケールⅡ-20、体温36.8度、呼吸数16回/分、脈拍数108回/分、血圧200/120mmHg、経皮的動脈血酸素飽和度96%、さらに右片麻痺が観察された。頭部CTの結果、高血圧性脳出血と診断され、入院となった。

- 図1は脳の血管の解剖図を表している。図中の①～⑤にあてはまる動脈の名称を書きなさい。
- Aさんの救急搬送時の観察で、次のうち最も優先する項目を、あとのア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア 対光反射 イ 心電図波形
ウ 頭痛の有無 エ 尿失禁の有無
- Aさんは診断の結果、被殻出血と診断された。Aさんの出血部位を表している部分を、図2のa～dから1つ選んで、その符号を書きなさい。
- Aさんの出血部位の特徴的な症状を、次のア～キから2つ選んで、その符号を書きなさい。
ア 右感覚障害 イ 眼球の病側への偏位 ウ 眼球の正中固定
エ 呼吸障害 オ めまい カ 運動失調
キ 縮瞳
- Aさんは入院8時間後、体温37.2度、呼吸数18回/分、脈拍数50/分、血圧208/106mmHg、経皮的動脈血酸素飽和度97%であった。呼びかけに反応しなくなり、痛み刺激を与えると手で払いのける動作は見られるが開眼はしない。再出血は認められなかった。
 - 病態の変化について考えられる要因を書きなさい。
 - Aさんの意識レベルをジャパン・コーマ・スケールで表しなさい。
- Aさんはその後、開頭血腫除去術を受け、術直後よりベッド頭側を20～30度挙上した。その理由を書きなさい。
- Aさんには、術後、深部静脈血栓症の予防が必要である。その方法を3つ書きなさい。
- 入院から3週間後、Aさんは後遺症として運動性失語が残り、涙ぐむことが多くなった。
 - Aさんの状態を最も正しく説明している文を、次のア～オから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア ウェルニッケ中枢の障害である。
イ 錯語がある。
ウ 話したい語が言えず、適切な名詞が出てこないため、遠回しにくどくど説明する。
エ 話す言葉に間違いが多く、スムーズに話すことができない。
オ 言葉の理解ができるため書字が可能である。
 - 入院後4週間が経ち、Aさんを生徒が受け持つことになった。「Aさんが何を言っているのか聞き取れない。どう支援すればいいのかわからない」と生徒から相談があった。あなたは、引率教師として生徒にどのように指導、助言しますか。その際のポイントを2つ書きなさい。

図1

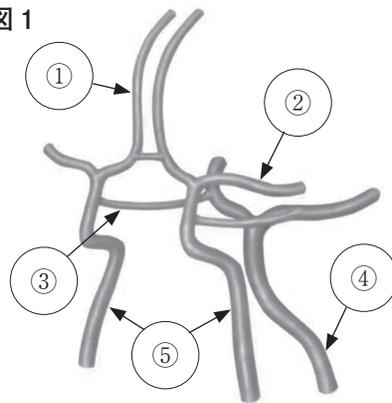
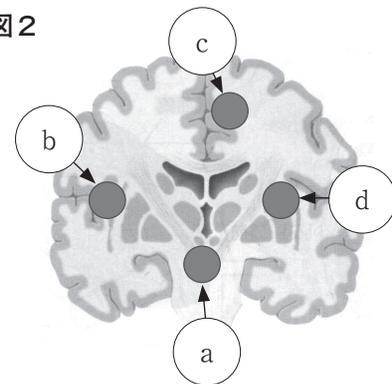


図2



II 次の事例を読んで、あとの問いに答えなさい。

Bさん(13歳・女性)は、最近運動時に息切れがひどいため、病院を受診した。検査の結果、鉄欠乏性貧血と診断され、鉄剤の内服が開始となった。

- 次の①～④の語句の説明文として適切なものを、あとのア～エからそれぞれ1つ選んで、その符号を書きなさい。
① 鉄欠乏性貧血 ② 再生不良性貧血 ③ 溶血性貧血 ④ 失血性貧血
[説明文]
ア 顔色不良、易疲労、息切れ、集中力低下の症状がみられる。
イ 黄疸、間接ビリルビンの増加がみられる。
ウ 皮下出血・粘膜出血などの出血症状がある。
エ 外傷、大量の消化管出血が原因である。
- 鉄欠乏性貧血の発症は、乳幼児期と思春期にピークがある。その理由を書きなさい。
- Bさんの内服開始時の服薬指導のポイントを3つ書きなさい。

令5 高等学校看護 (4枚のうち2)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

Ⅲ 次の事例を読んで、あとの問いに答えなさい。

Cさん(35歳)は、結婚して5年目である。結婚当初から妊娠を希望するが妊娠せず、2年前産婦人科を受診し、不妊症と診断された。

1 不妊症について最も適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

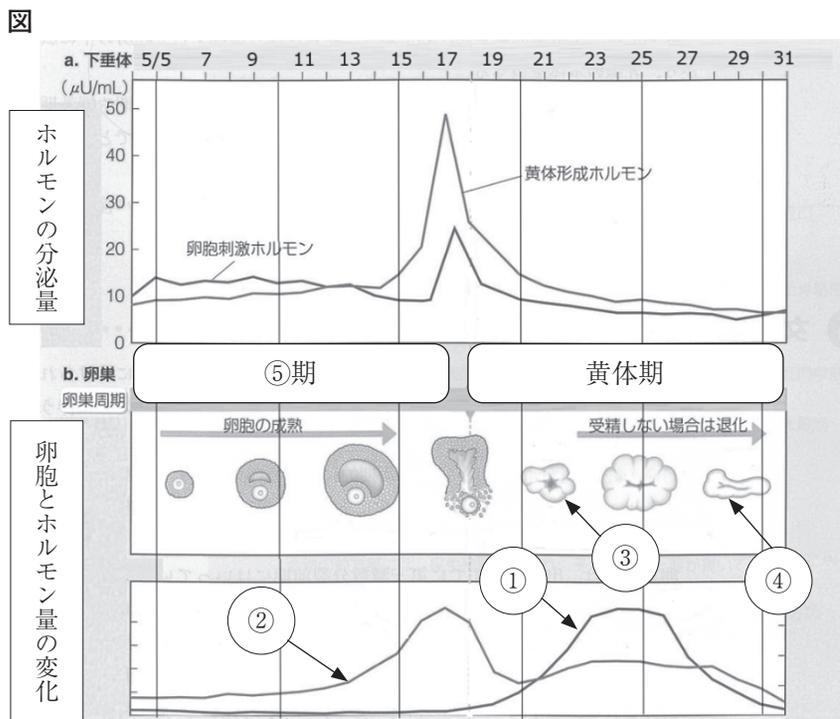
- ア 6か月避妊せずに性交渉があっても妊娠しない状態である。
- イ 妊娠を希望し避妊しないカップルの25%が不妊症である。
- ウ 不妊治療の保険適用は年齢・回数の制限がある。
- エ 女性の年齢と不妊症の治療効果は関係しない。

2 不妊症の治療に関して最も適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

- ア プライバシーに配慮し、治療はパートナーにも秘密とする。
- イ 日本では非配偶者間の人工授精は認められていない。
- ウ 性交後試験(ヒューナーテスト)は、精子の有無や運動精子の割合などを調べる検査である。
- エ 月経周期の不安定な人は、基礎体温による排卵の予知が最も有用である。

3 図は、性周期を表すものである。

- (1) 図中の①～⑤にあてはまる名称を書きなさい。
- (2) 排卵日として、最も可能性が高い日を書きなさい。



4 Cさんは40歳までに妊娠に至らなければ治療を終結しようと考えている。Cさんに対する看護師の対応として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

- ア まだ時間があるため妊娠の可能性は高いと励ます。
- イ 何歳までも治療はできるため、治療の再開を希望する場合は、遠慮せず来院するよう説明する。
- ウ 治療経験を意味あるものとして捉えることが出来るよう、納得して決定できるよう見守る。
- エ 特別養子縁組では、子どもと養親との年齢差は考慮しなくてよいことを説明する。

Ⅳ 次の事例を読んで、あとの問いに答えなさい。

Dさん(24歳・女性)は一人暮らしである。今までてんかん発作を4回起こしている。最初は20歳のとき、友人との食事中、意識を失った。全身の筋肉がつっぱるようなけいれん発作が左右対称に見られ、眼球は上転し白目をむいていたため、病院に緊急搬送された。21歳の時に職場で2度目の発作が起こり病院受診した。去年の10月、23歳の時に、職場で3度目のけいれん発作があり「てんかん」の診断を受け、バルプロ酸ナトリウム(デパケン)の内服を開始した。しばらくは服薬していたが、症状がないため今年2月から自己判断で内服を中断した。6月、朝目覚めると、筋肉痛、頭痛、吐き気があったため病院を受診し、検査のため入院となった。

1 てんかん発作の誘因として考えにくいものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

- ア 睡眠不足 イ 過労 ウ 体格 エ 喫煙

2 てんかんの特徴について適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

- ア 精神病を併発することが多い イ 成人期に多く発症する ウ 内服療法のみが有効である
- エ ほとんどが脳の器質的要因によるものである

3 Dさんのてんかんの発作の分類として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

- ア ミオクローニー発作 イ 間代発作 ウ 強直発作 エ 部分発作

4 Dさんのてんかん発作に対する看護師の対応として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

- ア 発作時は静かに見守る必要があるため、看護師は一人で対応する。
- イ 意識レベルを確認するために大きな声で呼びかける。
- ウ 危険なものがない場所まで移送する。
- エ 発作時間が長い場合は、酸素吸入などの準備をする。

5 Dさんに必要な保健指導として正しいものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

- ア 抗てんかん薬を飲み忘れたときはその時点で服用しましょう。
- イ 退院後、すぐ自動車は運転できます。
- ウ 妊娠しても、内服は継続しましょう。
- エ 発作時はタオルを口に入れてもらうように、周囲の人にお申し渡しましょう。

令5 高等学校看護解答用紙 (4枚のうち4)

総計		

看護

I	1	①	②	③					
		④	⑤						
	2		3	4					
	5	(1)	(2)						
	6								
	7								
		(1)							
	8	(2)							
II	1	①	②	③	④				
	2								
	3								
III	1		2						
	3	(1)	①	②	③				
		④	⑤	(2)	月 日				
	4								
IV	1		2		3		4		5
V	1	①	②	③					
		④	⑤						
	2	a	b	c					
		d	e						
	3			4					
	5								
6	ア	イ	ウ	エ					
VI	1		2		3	(1)			
	3	(2)							

I		

II		

III		

IV		

V		

VI		

総計	200

令5 高等学校看護 模範解答

1	① 前大脳動脈	② 中大脳動脈	③ 後交通動脈								
	④ 脳底動脈	⑤ 内頸動脈									
2	ア	3	d	4	ア	イ					
5	(1) 頭蓋内圧亢進（脳圧亢進）（脳ヘルニア）		(2) III-100								
6	術後は脳浮腫が起こり、頭蓋内圧が亢進するため										
I	7	弾性ストッキングの着用	間欠的空気圧迫装置の使用	足関節の運動の実施、早期離床など							
	8	(1) エ									
	(2) ≪生徒のつまずきの原因把握≫ Aさんを理解しようと努力していることを認める。 生徒のつまずいている原因を理解し、それに対して指導を行う。 ≪Aさんの気持ちを理解するための支援≫ Aさんの発する言葉をよく聞き、患者の気持ちや訴えたい内容を理解するように努める。 話を聞くときは落ち着いてきちんと聞く態度をとる。 ≪失語症のAさんへの会話指導≫ Aさんの気持ちを推測して質問する。内容は「はい」「いいえ」で答えられるように簡単に構成する。 絵やジェスチャーを活用して会話する。 など										
II	1	① ア	② ウ	③ イ	④ エ						
	2	急速な成長及び思春期の月経による鉄需要の増大に見合う鉄摂取が行われない									
	3	吐気・嘔吐、下痢などの消化器症状等の有害作用が生じやすい	お茶や食事と一緒に服用しても効果に影響しない	便が黒くなることがあるが有害ではない							
III	1	ウ		2	ウ						
	3	(1)	① プロゲステロン	② エストロゲン		③ 黄体					
			④ 白体	⑤ 卵胞（期）		(2)	5月 17日				
	4	ウ									
IV	1	ウ	2	ア	3	ウ	4	エ	5	ア	
V	1	① 咀嚼		② 咽頭		③ 胃					
		④ 食道相		⑤ 延髄							
	2	a	軟口蓋		b	咽頭		c			喉頭蓋
		d	気管		e	食道					
	3	ア		イ			4	ア			
	5	・安楽な姿勢や体位を保持する ・食べる時間が長くないようにする			・食事の形態をEさんの嚥下状態に合わせる。（とろみをつけるなど）			・食べ方を工夫する（咀嚼してからゆっくり飲み込む など）			
6	ア	○	イ	○	ウ	×	エ	×			
VI	1	ウ		2	ウ		3	(1)	ウ		
	3	(2)	老年期であり、また下腿骨折しているため立位が不安定である 排泄行動は羞恥心を伴い、自力で行おうとする（看護者への遠慮がある） 便尿意により行動を焦る など								

I	59

II	24

III	27

IV	15

V	59

VI	16